



長田 徹 氏

▼一兎追うものだけが一兎を得る

長田氏は自身の子育て経験談を交え「勉強はできるけれど大嫌い、勉強が将来役に立つとは思わない」と感じている子が多いという、日本の子どもたちの現状を話されました。

学習意欲には、他人からの強要やプレッシャーを与えられたりすることにより学習する「外発的な学習」と、自発的に取り組み、新しいことを学びたい、学習は楽しい、と思う「内発的な学習」があるそうです。このふたつの学習意欲から成績を比較すると、両方の意欲の高い子よりも、本人にやる気があり、親の意欲が満々でも、結局本人にやる気がなれば成績は伸びない、と話されました。



庄子 修 氏

▼一兎追うものだけが一兎を得る

また、国際的な学力調査であるPISA（学習到達度調査）やTIMSS（国際数学・理科教育動向調査）の分析調査から、学習意欲の向上と将来への不安解消が課題であり、そのために戦うことの喜びと世の中の厳しさを伝えることが必要です。「一兎を追うものだけが一兎を得る」、「近い目標と遠い目標」この二つの目標

## 福岡市PTA協議会役員研修会

平成26年5月16日  
少年科学文化会館

- ▼研修Ⅰ テーマ なぜ学ぶのか、なぜ努力するのか
- 講師 長田 徹氏（文部科学省 国立教育政策研究所 総括研究官 教育課程調査官）
- ▼研修Ⅱ テーマ 学校と地域が協働で行う キャリア教育の充実 → 職場体験に隠れていた驚きの効用
- 講師 庄子 修氏（宮城教育大学 教育復興支援センター 特任教授）



福岡市の花「ふよう」

## 発行所

福岡市中央区天神1丁目10-1  
市庁舎北別館  
福岡市PTA協議会

## 発行人

会長 日高政治  
広報委員会



福岡市PTA協議会  
ホームページ

<http://www.fukuokacitypta.jp>

福岡市PTA 検索

印刷 PDF ドミクスコーポレーション

平成26年度PTA会長・担当副会長合同研修会

総勢285名の参加にて行われました。これは、從来会長会、担当副会長会それぞれに行われていた本年度初めての形式での開催となりました。

研修Ⅰとして、「PTAが果たす役割」や

「現在、PTAが抱える問題点」など、分かりやすく説明がありました。特に、PTAの活動領域という説明では、単位PTAでの日々の活動がどのような目的の下に行われているかを図解し、活動の意欲が高まる話でした。

研修Ⅱとして、「ファシリテーション」という技法を用いて、「テーマ「あなたはPTAで何を学びましたか?何を学びたのですか?」」について

「あなたはPTAで何を学びましたか?何を学びましたか?」と、その活動がどのように運営されるかを図解し、活動の意欲が高まる話でした。

研修Ⅲとして、「職場体験導入」が行われました。最初は新しい技法に戸惑いのあった参加者も進行役の加留部貴行氏の軽快な

トークに引き込まれ、楽しきティースタッショングが行われました。

まず、職場体験導入までの苦労や協力事業所の開拓、また保護者の心配の声があつたことなどを説明された後、多様な大人との関わりで学習意欲が向上したと述べられました。

『職場体験を終えて、これからもっとも身につけたいと思った力は?』のアンケートでは、「教科の学力」が位だったそうです。本気になつて働く大人の姿を目の当たりにし、子どもたちは「私の育つたところに、こんな素敵な人がいる!」「ふるさと大好き!」「自分も頑張ろう!」と、地域との関わりの中で目標

を達成するため、中長期的な視点に立った教育改革を推進することで、平成26年度の予算については「外国語教育をはじめとする学力向上への取り組み」「いじめ不登校、ひきこもり対策の充実」「良好な教育環境」に重

視して、教育委員会からは「新しくおおかの教育計画」後期実施に基づき、「基本的生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子ども」の育成のため、

研修Ⅳとして、「PTAの組織・役割」

講師 西方 俊司氏（福岡市PTA協議会 副会長）

研修Ⅴ 対話の時間 テーマ「あなたはPTAで何を学びましたか?何を学びたいですか?」

進行役 加留部 貴行氏（AN-BAI代表 九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授）

平成26年6月15日 福岡国際会議場

委員会に提出した平成26年度の教育予算要望に対して回答書を受理し、それに伴い市PTA協員と教育委員会関係者との意見交換会を行いました。

昨年7月に福岡市PTA協議会が教育

委員会の役割活動内容などの説明がありました。

各委員会では、新旧委員長を中心に活動の内容の引継ぎや、今後の活動についての活発な情報交換や有意義な話し合いが行われました。九P実行委員会においても今後の活動スケジュールの確認や役割分担が行われ、来年の大会に向けて本格的に活動が始まりました。

## 福岡市PTA協議会 委員総会

平成26年6月15日 福岡国際会議場

今年度は、会長・担当副会長合同研修会に引き続き、常置委員会の委員総会（教育問題委員会・研修委員会・広報委員会）および九州ブロックPTA研究大会・福岡市大会・実行委員会が行われました。日高政治福岡市PTA協議会会长より、「それぞの委員会の皆さんには、われわれ協議会の屋台骨を担つていただいております。単位PTAの活動とも重なりますが、どうぞ宜しくご協力ください。」とあいさつをいただきました。

その後、福岡市PTA協議会の組織説明があり、常置委員会の役割活動内容などの説明がありました。

各委員会では、新旧委員長を中心とした活動の内容の引継ぎや、今後の活動についての活発な情報交換や有意義な話し合いが行われました。九P実行委員会においても今後の活動スケジュールの確認や役割分担が行われ、来年の大会に向けて本格的に活動が始まりました。

## 東日本大震災義援金街頭募金

平成26年3月8日

各区連合会協力のもと、東日本大震災義援金募金活動を実施しました。まだ肌寒い中、各区に設けられた募金会場では、多くの方に参加していただき、818,573円の募金が集まりました。ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

集まった募金は、被災した子どもたちの支援のため、仙台市PTA協議会に送らせていただきました。



福岡市教育委員会より回答書受理

意見交換会では、子どもたちの教育環境改善のため、具体的な質問をさせていただくななど、活発な意見を交わしました。

## 教育予算要望回答についての意見交換会

平成26年3月25日 福岡市役所

委員会に提出した平成26年度の教育予算要望に対して回答書を受理し、それに伴い市PTA協員と教育委員会関係者との意見交換会を行いました。

昨年7月に福岡市PTA協議会が教育

**小学校 PTA各連合会**

和顔愛語でつくる西区の輪  
より良いPTAへ!!  
～Pプラン・Tトライ・Aアクション～

笑顔でつなげよう 11の輪  
俺たちがやる!  
自ら咲い 自ら活動  
すべてはみんなのために 共に育つ区PT連

つながる東区～29校の絆のチカラ～  
博多区はひとつ!

「Just a smile, it's a nishi-ku way.」  
早良区はひとつ!

こころひとつ、この子たちの明日へ城南区6中P  
俺たちもやる!  
だれがやる、中央区がやる…俺がやる  
子どもの未来のために 東区は団結でがんばります  
最高のバトンタッチを目指します

**中学校 特別支援学校 PTA各連合会**

# 「今こそ深めよう!! 学校・家庭・地域の絆」

## 共に感じ、共に学び、共に育つ絆づくり(～共感・共学・共育～)

### 26年度 福岡市PTA協議会

#### 第43回 定期総会

平成26年5月28日 少年科学文化会館



日高政治福岡市PTA協議会会長から、昨年より取り組んでいる活動目標をさらに浸透し定着させていくために、単位PTAと福岡市PTA協議会が発信源となり、活発に活動し、子どもたちが自分で生きる力を育していく環境を整えていきたいとあります。開会行事では、公務ご多用の中、島宗郎福岡市長、大石修二福岡市議会副議長、内藤妙子福岡県教育委員会教育企画部社会教育課主幹社会教育主事酒井龍彦福岡市教育委員会教育長ほか、多数のご来賓のご臨席もご出席いたしました。続いて平成26年度役員・会計監査候補者が承認され、新体制が整いました。

総会では平成25年度事業・活動報告、決算会計監査報告の後、平成26年度事業活動計画案及び予算案が承認されました。

感謝状の贈呈が行われました。

**広報紙コンクール**

優秀作品は以下の通りです。なお、この10校の広報紙を日本PTA全国協議会の広報紙コンクールに出展いたします。

|            |            |            |
|------------|------------|------------|
| まつしま       | ありすみ       | 小学部の部      |
| あおば        | じょう☆なん     | 城南小学校の部    |
| まつしま       | かしはら       | 柏原小学校の部    |
| はこざき       | かわせみ       | 片江中学校の部    |
| まつしま       | はこざき       | 城南中の部      |
| 三宅         | ながお        | 中学校の部      |
| 三宅PTA      | 片江中学校PTA   | 城南中学校PTA   |
| 松島小学校父母教師会 | 柏原小学校父母教師会 | 城南小学校父母教師会 |

## 平成25年度 いじめ防止標語コンテスト入賞作品

| 賞                   | 標語                                                                                                                                                                                                                                                                         | 学校名・学年                                                                               |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 最優秀賞                | とくいなこと、にがてなこと みんなあるから だいじょうぶ<br>おい俺よ そんな自分を 許すのか                                                                                                                                                                                                                           | 照葉 小・1年<br>城南中・3年                                                                    |
| 優秀賞                 | ぼうりょくの、グーから守る、助けのパー<br>なりたいな こころのくるしさ わかる人<br>いじめには「だって」の言い訳 通らない<br>できるなら もう1年だけここにいたい そんなクラスを つくります                                                                                                                                                                      | 弥永西小・4年<br>有住 小・5年<br>筑紫丘中・1年<br>姪浜 中・1年                                             |
| PTA推薦賞              | ふりしぶる 勇気がかかる自分の心<br>いじめって、ことばが だいきらいって みんなにほんきで おもってほしい<br>見てみぬふり それも1つの いじめかた<br>いつまでも「第三者顔」やめようよ 君の一言で 助かる心<br>思いやりは人を幸せにする。思いやりは心を温かくする。<br>でも、思いやりは少し難しい。だけど、誰でもできること。<br>休み時間 私囲んで なにするの?                                                                             | 美和台小・6年<br>花畠 小・1年<br>香椎 小・5年<br>箱崎清松中・3年<br>城南中・1年<br>百道 中・1年                       |
| いじめゼロ<br>プロジェクト賞    | 伝えよう「ごめん」と思った その気持ち<br>いじめても、あなたの心は うまらない。                                                                                                                                                                                                                                 | 百道 小・6年<br>原中央中・1年<br>照葉 小・6年<br>下山門小・1年                                             |
| いじめ防止<br>委員会<br>特別賞 | 心のノート すてきな言葉で いっぱいに<br>ともだちはわたしのだいじなきらきらぼし。<br>やさしいことば ぼくはさきいやなことば ぼくはさきらいともだちもきっと同じだよ<br>いじめをしたら、相手がなく、ぼくもなく、かぞくもなく。みんな、なく。<br>いじめは赤信号 いじめ見て見ぬふりは黄信号 仲良くするは青信号<br>いじめのラクガキ、消せるのはみんなの優しい気持ち。<br>読むな空気、だせ勇気<br>許さない 許さない その暴行(あそび)<br>空いた席、足りない思いを、伝えよう。<br>その言葉 心の検問 ひっかかる | 小田都小・3年<br>堤丘 小・3年<br>鶴田 小・6年<br>友泉 中・1年<br>柏原 中・1年<br>百道 中・3年<br>花畠 中・2年<br>柏原 中・2年 |

19,421通の応募作品の中から受賞された児童・生徒への表彰式が行われました。日高政治福岡市PTA協議会会長より、最優秀賞優秀賞・PTA推薦賞、島内将史いじめ防止委員会委員長より、特別賞の賞状と記念品が贈られました。また今年度は、福岡市教育委員会からも新たに「いじめゼロプロジェクト賞」が設けられ、橋爪秀三理事より同じく賞状と記念品が贈られました。受賞作品は以下のとおりです。受賞作品は以下のとおりです。佳作以下はHPをご覗ください



## 『いじめ防止標語コンテスト』表彰式

第60回九州ブロックPTA研究大会福岡市大会  
実行委員会発足式開催

平成26年5月28日 ホテルオーネ福岡

平成27年度に開催される、第60回九州ブロックPTA研究大会福岡市大会の実行委員会の発足式が行われました。

大会会長の日高政治福岡市PTA協議会会長より挨拶のあと、実行委員長として西方俊司福岡市PTA協議会副会長と、相談役・顧問として歴代会長4名に委嘱状が手渡されました。

次に西方実行委員長より、理事1名と各連合会から推薦していただいた15名の実行委員の方々に委嘱状が手渡され、来年度の大会に向けて会場にいる参加者全員一致団結し「頑張ろう!」と大きな掛け声で締めくくりました。



優しい委員さんたちと一緒に楽し  
い一年間が過ごせました。無事、ノル  
マの3号を発行することができ、聞  
きなれた行事の中にもいくつもの  
新しい発見がありました。  
子どもたちのためーと負担に思  
うのではなく、新しい経験を求めて  
積極的に行動できれば、きっとと貴方  
もPTAが好きになるーはず(笑)

編集後記

いかそう! 読者の声  
モニターアンケートへのご協力あ  
りがどうございました。今後の広報紙作りの参考にさせ  
ていただきます。

116号モニターアンケートより

特P連のレクリ  
エーションなど紹介  
くはエベ  
していま  
す!詳  
し  
しま  
した!!

リホームペー  
アルジ  
ー

116号モニターアンケートより

QRコード

## 高校卒業資格が取れる音楽学校

平成26年度

## オープンキャンパス

- 7/6(日)・7/20(日)
- 8/10(日)・8/24(日)
- 9/14(日)・9/28(日)
- 10/12(日)・10/26(日)
- 11/16(日)・12/14(日)
- 1/25(日)・2/8(日)
- 3/15(日) ●開始時間  
各回 13:00~

【オープンキャンパスのお申込み・パンフレットのご請求は】

シー アンド エス 福岡県教育委員会指定技能教育施設

C/S音楽学院

☎ 092-834-1200

シー アンド エス 音楽学院

〒814-0021 福岡市早良区荒江2丁目17-1

FAX.092-834-1201

http://www.cs-music.jp

本校卒業生 手島 美



## 研修委員会より

研修委員会の活動は、市PTA主催「PTA啓発研修大会」の企画・実施や、その他研修会のお手伝い、「県下一斉親子ふれあい週間」などのアンケートを行います。

25年度は「早寝・早起き・朝ごはん」と、新しく「ノーメディア・チャレンジ」のアンケートに取り組みました。

インターネットや携帯で調べものをするのも、検索サイトで単語を打ち込めばすぐ結果がわかります。便利になりましたが、会話の中から見つかることもあるのではないでしょうか。

「自分で自分の事がうまく表現できない…」と子どもたちが思い悩み始める前に、会話を出来るだけ増やし、答えを先回りして出さず、対話の中から自分自身で発見させる。やってみるとなかなか難しい事ですが、こんな便利な世の中だからこそ、私たち親が子どものコミュニケーション能力を鍛える必要があるのではないかでしょうか。

そこで今回は福岡市の教育方針である「あいさつ・掃除 自学 立志」の一部を盛り込み、保護者・学校にも協力していただき、ノーメディアに取り組んでみよう実施しました。

福岡市内の各学校のアンケート結果をお知らせします。

## アンケートコース内容

- ①1日テレビを見ない・ゲーム・携帯をしない
- ②テレビ・ゲーム・携帯を合わせて1日1時間以内にする
- ③テレビ・ゲーム・携帯を合わせて1日2時間以内にする
- ④食事中はテレビを消して携帯もしない



## チャレンジ後どんな変化がありましたか

- A規則正しい生活が送れた
- B家庭学習時間が増えた
- C家族と話すことが増えた
- D家のお手伝いがたくさんできた
- Eその他

(本を読んだ・早く寝た・友だちや家族と遊んだ・ペットと遊んだ・趣味の時間が増えた)など

## 学校の感想

- ノーメディアの取り組みは家族の協力が不可欠
- メディア自体が問題なのではなく、活用の仕方が問題
- 短い期間だったが、生徒への意識付けになってよかったです
- 目にみえた結果がわかる取り組みでよかったです
- 取り組みに温度差があるため、学校・保護者が一体となり啓発活動を行っていきたい

## 保護者の感想

- 親もダラダラとテレビを見ている事に気づかされた
- お手伝いをたくさんしてくれた
- いつもより落ち着いて宿題をしていた
- 会話が多くなり、子どもの心の変化がわかるようになった
- 約束事を決める必要性を感じた
- 時間にメリハリがついた

## その他感想や意見

- 子どもだけで取り組んだ家庭が多いので親子で取り組めるコースがあればよいと思います。
- 校区で学期ごとに1日ノーメディアデーを決めて児童・保護者へメディアとの接し方を振り返る機会にしています。

## 委員長より

ケイタイがなかった時代、コミュニケーション手段は、固定電話か手紙、又は会って話すしかありませんでした。ネットやケイタイ全盛の便利な世の中では、「あとでメールしつければいいや」となりがちです。今ここで伝えておかねば、という刹那に対する価値観が、現代では確かに圧倒的に低下しているように思えます。